

## “キャッシュフロー重視の経営”を実践し、財務基盤強化を加速しよう

2021年 11月 18日

会長 兼 CEO



### 1. 第2四半期決算

11月4日に、2021年度第2四半期決算を発表し、オンラインで決算説明会を開催しました。上期累計の業績は、売上高、利益共に前年同期を上回り、最終利益は前年同期比1.8倍の大幅増益となりました。この間の皆さんの努力に感謝します。

第2四半期については、半導体隘路や物流混乱の影響拡大に加えて、ASEANにおける新型コロナウイルス再拡大によって販売や生産が落ち込んだ結果、売上高は前年同期比減収となりました。一方、利益については、これまで進めてきた収益力強化の取り組みが功を奏し、原材料価格の高騰が継続する中でも、ブランド事業、特にスマートライフが堅実に利益を計上するとともに、ディスプレイデバイスの収益改善がさらに進展し、増益を確保することができました。

加えて、フリーキャッシュフローを着実に創出するとともに、自己資本比率についても20%まで回復を遂げ、当面の目標である25%に向けて四半期毎に改善が進んでいます。

このような決算を受け、説明会の出席者からは、「スマートライフを中心に、外部環境悪化の影響をしっかりと抑え込んでおり、ブランド企業として確かに歩みを進めている印象を受けた」、「コロナ禍や半導体不足の中にあっても、財務基盤強化が着実に進展している」など、前向きな評価を頂戴する一方で、「厳しい事業環境の中で健闘してはいるものの、業績の減速感が強まってきており、年間公表値達成のハードルが上がっている印象」など、今後の見通しについて厳しい見方もありました。

下期の事業環境は、半導体価格がピークを過ぎつつあることに加え、日本でもコロナ感染の沈静化に伴い、経済活動の正常化が進展するなど、前向きな変化が見られます。一方、足元では、コロナ感染者数が欧州などで再び拡大に転じており、

日本においても第六波のリスクが残るなど、依然として不透明感が拭えません。加えて、原材料価格の高騰やサプライチェーンの混乱はしばらく続く見通しにあり、今後も厳しい事業環境が続くことを覚悟しておかなければなりません。

こうした前提に立ち、先月、全事業本部長と議論を重ね、年間公表値の達成に向けた下期経営計画を再確認しました。各本部では既に、計画をブレイクダウンし、具体的なアクションに繋がらせていると思いますが、一人一人が目標達成に執念をもって取り組み、全社一丸となって頑張りましょう。

加えて、当社の最重要経営課題は財務基盤の強化であり、このためには、売上、利益の拡大を目指す一方で、環境変化に常に目を配り、在庫の適正化や経費削減、投資の効率化等、よりきめ細かな経営管理を行う“キャッシュフロー重視の経営”を実践していくことが肝要です。今下期は、社員全員がこうした意識をより高く持ち、さらなる業績改善に邁進していただきたいと思います。

## 2. AQUOS XLED

10月26日に、オンラインで新商品発表会を開催し、当社テレビのフラッグシップとなる新ブランド『AQUOS XLED』を発表しました。この『AQUOS XLED』は、日本ブランドで初めて mini LED バックライトを搭載したテレビで、従来の液晶テレビの強みである“白の輝き”と、有機 EL テレビの強みである“黒の締まり”の両方を実現した次世代のテレビです。

実物を体験いただいたメディアの方々からは、「一目でその美しさに目を奪われるテレビだ」、「シャープの高い技術力を感じた」、「シャープが先頭に立って次世代テレビ市場を切り拓いてほしい」など、非常に高い評価を頂戴するとともに、当社の今後の展開に対する期待のお言葉を多数頂戴しました。また、国内最大級を誇るオーディオビジュアル機器の総合アワード「VGP2022」において、「総合金賞」を受賞するなど、既に複数の賞の受賞も決定しています。短期間で『AQUOS XLED』の商品化を実現してくれた SDS 事業本部の皆さんに、改めて感謝します。

当社の AQUOS は、今後、XLED/OLED/液晶、8K/4K/2K と、業界随一の幅広いラインアップで展開し、顧客の多様なニーズに応えることで、日本国内はもとより、欧州、中国、ASEAN、そして米国においても、さらなる販売拡大を実現していく考えです。関係部門の皆さんの、より一層の奮起を期待しています。

### 3. CEATEC 2021 ONLINE

10月19日から4日間に亘って、CEATEC 2021が、昨年に引き続き完全オンラインで開催されました。今年の CEATEC は、「ニューノーマル社会と共に歩む CEATEC」の推進スローガンの下、314社/団体が出展し、カーボンニュートラルやスーパーシティ/スマートシティ、モビリティ、5G 等に関する展示が数多く行われました。

当社は、ニューノーマル社会の早期実現に向け、“Smart Home”や“Smart Office”、“Entertainment”、“Healthcare”等、8つの重点事業分野における10種類のソリューション提案を行い、全出展者の中で最も多い来場者数となるなど、高い注目を集めました。

また、当社が出展した耳あな型補聴器「メディカルリスニングプラグ」は、主催者から、「医療機器認証を取得したリーズナブルな補聴器でありながら、一見補聴器とは見えないワイヤレスイヤホンのようなスタイルが特徴で、潜在的な難聴者を救い『健聴寿命』の延伸に貢献する製品である」と高く評価され、“CEATEC AWARD 2021 要素技術・デバイス部門 グランプリ”を受賞しました。

この他にも、当社が推進している重点8事業分野の取り組みは、様々な賞を受賞するなど、各方面から高く評価されています。

#### ■主な受賞

製品・ソリューション	受賞
① 3眼カメラ配筋検査システム	第23回国土技術開発賞 入賞(9月)
② 8K インタラクティブミュージアム 「8Kで文化財“ふれる・まわせる名茶碗”」	2021 Design Intelligence Award(10月)
③ ヘルシオ ホットクック	第2回日本子育て支援大賞2021(7月)
④ 8Kで収録したマレーシアの 観光プロモーションビデオ「AMAZING」	第21回 World Media Festivals Tourism & Travel Media Award カテゴリー 「MAGIC EYE」特別賞 及び 金賞(5月)

今後もこうした取り組みをグローバルで加速し、社会課題の解決に貢献することで、シャープブランドの価値向上を実現していきましょう。

#### 4. 最後に

11月1日付で、株式会社 AIoT クラウドの新社長として、石黒豊氏をお迎えしました。石黒さんは、法人向け IT サービス分野における豊富な経験をお持ちで、直近では、企業向けビジネスチャットやグループウェア事業を牽引して来られた方です。早速、11月20日(土)に勉強会を開催し、石黒さんから AIoT クラウドの今後の方向性等についてご説明いただく予定ですので、幹部の皆さんは勿論、マネージャーの皆さんも、積極的に参加していただけることを期待しています。

11月11日に、中国の EC 業界における最大のイベント「双十一」が開催され、当社においても、大型/ハイエンドテレビの販売が拡大するなど、大きな反響がありました。また、来週末にはブラックフライデー、その後も、クリスマス、年末年始と、各国において極めて重要な商戦期に入りますが、当社が年間公表値を達成するためには、この間にどれだけ前倒しで業績を積み上げられるかがカギを握ります。

既に、日本では、『AQUOS XLED』の発売を記念したキャッシュバックキャンペーンを展開しており、12月10日の発売に合わせてテレビコマーシャルの実施も予定しています。また、海外においても、各市場の特性に合わせた様々なプロモーション施策を展開していく予定ですので、こうした取り組みを着実に成果に繋げ、全社一丸となって、さらなる事業拡大を実現していきましょう。

以上